



編集・発行
上甕中学校 P T A 研修部

所在地・連絡先
薩摩川内市上甕町中甕 191 番地 1
09969-2-0014

生徒・保護者・先生が心をひとつに

「就任の御挨拶」

PTA 会長 岩下 巧



小暑の候、PTA 員の皆様には、
ますます御健勝のこととお慶び申
上げます。

この度、平成 30 年度 PTA 会長
を務めさせていただくことになりました。

上甕中学校は、生徒数 14 名と皆様ご存じの通り生
徒数が減少傾向にあり、本年度から 1 年生と 2 年生
の複式学級となりました。

この少ない生徒、先生、P 戸数で、1 年間 PTA
活動を運営していかなければなりません。そのため
にも会員の皆様の御協力が必要となりますので、よ
ろしくお願いいたします。

子供たちが楽しく安全に学校生活を送り、上甕中
学校の生徒で良かったと言ってもらえるように努力
をしてまいります。

最後になりますが、PTA 会員、先生方、地域の
皆様方の一層の御支援と、御協力をお願い申し上げ、
御挨拶いたします。

チーム上甕中 PTA ～子供の応援団～

校長 鬼塚 富貴子



本校のキャッチフレーズは、「生
徒が元気！先生が元気！保護者が
地域の元気！上中から元気を発信！」です。保護者
の皆様には、かねてより学校教育及び PTA 活動に

御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、先月末に、小中一貫教育研究公開を実施い
たしましたところ、教職員、保護者、地域から多数
の参加があり、小中職員と児童生徒の学び（研究）
を発表することができました。研究公開終了後は、
多くの方々より、上甕中学校区（小中学校）に関係
する皆様方の教育に関する高い意識と学校への協力
体制に賞賛の言葉が多くありました。保護者の皆様
方の当日の接客及びマナーに、参加された先生方が
驚かれていました。（おもてなし抜粋！心が伝わる）

校長として、研究公開を

通して、改めて学校は地域

保護者に支えられていると

痛感いたしました。また、

生徒の姿は満点でした。歌

や授業も平常心で取り組み

日頃の姿そのものでした。

改めて生徒の姿に頼もしさ

を感じました。また、研究

公開の場で自身の力を最大に発揮できることは、

日々の教育の積み重ねしかありません。今後、学

校教育と家庭教育、そして、地域行事を通して、子

供たちに多くの体験をさせながら、自己肯定感をも

たせたいと思います。

平成 30 年度も昨年度同様、皆様方のお力添えをよ

ろしくお願いいたします。

子供は社会の宝。上甕の大人みんなで大切に育て

ていきたいと思います



1年間よろしくお願ひします！ 新PTA役員あいさつ



PTA副会長 山下 大介

小学校・中学校のPTA役員として、12年を迎えようとしています。思い返してみるといろいろなことがありました。

小学校のPTAの一番の思い出といえば、子供たちと先生方、そしてPTA会員で、歓送迎会前に海に出かけて魚を釣ってきたり、貝を捕ったりしておいしく楽しい時間を過ごしたことです。中学校のPTAの思い出といえば、幼小中合同の歓迎会です。幼稚園の保護者、小学校のPTA、中学校のPTAがみんなで仲良く、楽しい歓迎会でした。今年度は、昨年度よりも工夫してさらに良くなるようにできればと思います。



最後になりますが、子供たちとPTAにとって良い思い出ができるように、手助けをできればと思っています。今後とも皆様の御協力を頂ければより良いものができると思います。みんなで協力し合っすばらしいPTA活動ができるように頑張ります。



PTA副会長 石原 知明

息子鳳陽が上甕中学校に入学し、ドキドキ、ワクワクの中学校生活が始まり、自分もPTA役員になりました。自分も上甕中学校に通い、卒業した思い出があります。

今、上甕中学校に通い、学業や部活動等を頑張っている子供たちにも、自分と同じように、何歳になっても「楽しかった!!」あのときはこうだった!!と楽しい思い出になる学生生活を送れるよう、また、一日一日を楽しく過ごせるよう、自分に出来ることを頑張ってみようと思います。

中学校の行事や役割など、分からないことだらけで皆様に多くの迷惑をかけると思います。先生方、先輩の保護者の方々の力を借りながらPTA活動に取り組んでいこうと思いますのでよろしくお願ひします。



PTA研修部部长 中尾 真由美



平成30年度、PTA研修部部长を務めさせていただくことになりました中尾です。

生徒数の減少に伴いP戸数も少なくなっている状況で、今年度の研修部は、5家族で運営していくことになりました。そこで、記事の内容を見直し、「海風」の記事と同じにならないよう、PTA新聞らしいものを作るよう、話し合いを重ねております。もちろん、PTA会員の皆様の協力あつてのPTA新聞です。1年間で、3回の発行を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。

また、学校保健委員会、給食試食会などを企画していきますので、皆様に出席していただき、意見交換の場となればと思っておりますので、こちらのほうも、よろしくお願ひいたします。

PTA事業部部长 脇田 勇作



この度、事業部部长を務めることになりました脇田です。

中学校のPTA会員も初めてで、右も左も分からないことばかりですが、子供たちがよりよく中学校生活を送れるよう、精一杯頑張りたいと思います。御迷惑をかけることもあると思いますが、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。1年間よろしくお願ひいたします。

上甕中学校に入学して

新生保護者 家吉 竜一

正純が入学して、早や4カ月が過ぎようとしています。甕島に来て3年目。中学3年生の姉と仲良く歩いて通学すること、友達とも仲良く学校生活を送っていることが、親としては何よりもありがたく感じます。また、勉強も先生方の指導が行き届いていること、楽しく学校生活を過ごしていることを、過日の授業参観で感じるところでした。親の転勤で来た甕島ですが、姉弟含め、学校生活が楽しいと喜んでいきます。

思春期を迎える時期に、良い環境で心身共に成長してくれることを願っています。



新生保護者 石原 美加

大雨の中、制服に長靴を履いていった入学式。新生代表のあいさつで、台から顔しか見えていない鳳陽が印象的でしたが、堂々とした姿に改めて成長を感じ、これからの学校生活を有意義に過ごしてほしいと心から思いました。

早いものでその日から4ヶ月が過ぎ、毎日小さな体で重たい荷物と格闘しながらも元気に登校。父子



共にこの上甕中学校に通うことができて嬉しく思います。毎日ヘトヘトで家に帰ってくるのですが、夜御飯を食べながらその日の出来事を話すのが日課です。勉強の事。剣道の事。小学校とは比べようのない量の給食を時間内に必死で食べている事。充実した学校生活が過ごれているように感じ、クラスメイト、先輩、先生方に支えられていることに感謝の気持ちでいっぱいになります。必ずくる島立ち。後3年だと思うと寂しくなりませんが、鳳陽が笑っていられるよう、出来ることをサポートしていきたいです。

新生保護者 中間 明子

「ピッカピッカの1年生」とは、小学校入学の児童を連想しますが、入学式当日、光輝く絵恋の姿を見て、中学生にも当てはまるものだと感じました。少しの緊張と少しの不安、そして大きな歓びを隠しきれず、心はそわそわ踊り、どこから見ても「ピッカピッカの1年生」でした。そんな絵恋を見て親のほうも、新たな気持ちで中学校生活の始まりを喜び、島立ちまでの3年間を、一日一日、一つ一



つ大切に過ごしていこうと強く思いました。今まではずっと兄の後を追いつつ自分の道を歩き出しました。部活に勉強、そして自分の夢に向かって頑張っていました。親は全力で応援するのみです。先生方をはじめ地域の皆様、先輩そして友達、おしゃべり大好きな絵恋ではありますが、どうぞよろしくお願いします。

新生保護者 脇田 ルミ子

とても、緊張していた入学式から、4ヶ月が過ぎました。初めの頃は、慣れない中学生生活と、部活動もあり、毎日ヘトヘトになって帰ってきていましたが、少しずつ慣れてきたように感じます。疲れていても、楽しそうに学校での出来事を話してくれる娘をみて、充実した日々をおくれている様子が嬉しく思います。

この3年間で勉強だけでなく、いろいろな事を学び経験して、心身ともに成長してほしいと思います。親として、紗羽の成長を支え応援していきたいです。そして島立ちまでの3年間で大切に過ごしていきたいと思っています。

先生方、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



身近な『新聞』の活用を ～家庭教育学級「新聞講座」～

5月21日に第1回家庭教育学級が開かれ、南日本新聞読者センターの岩松マミさんを講師としてお招きしました。

＜参加者の声＞

学力と新聞を読むこととの関係性は、私が学生の頃にも度々耳にしていました。しかし、新聞は毎日届いていても、子供が自ら読むことはなく、これまでは子供が興味のある記事を読ませていた程度でした。しかし、今回の講話を聞き、改めて新聞は宝の山だと感じました。まず新聞を開き、見出しで興味のある記事に目を留め、読み、それに対するいろんな考えが生まれることで、他に伝えたいかなと思います。その思いが、コミュニケーションへとつながり、親子の会話、先生、友達との学校での話題と、どんどん広がっていくと思います。



これから子供と一緒に過ごす短い期間、共有できる話題作りに新聞をフル活用していきたいです。

(PTA研修部員 山下 智子)

新聞を用いて、紙面作りのポイントや工夫、新聞の読み方・楽しみ方を教わりました。



岩松マミさんの講話を聞きながら、我が子の世代と40代以降の世代とのギャップ、特に、インターネットが当たり前の時代に育った子供と私たち保護者が育ってきた環境の差はとて大きいことを実感しました。

また、時代の流れに乗りながら子供の内面を育てるヒントとして、目ではわからない大事な「本来、人間とは？」ということを考えることの大切さや、口・耳・目で人と関わっていく大切さなど、貴重なお話を聞くことができました。

早速わが家でも実践したいと思います。

(PTA研修部員 岩下 佐枝子)

『海風』に生かせることは
何かな？



『新聞』の特徴は …



生徒も、薩摩川内元気塾で新聞作りを学びました。今後の『海風』作成に役立てていきます！

上中生の健康について考えよう

～心身共に健康で楽しい学校生活を送るために～

6月8日に第1回学校保健委員会が開催され、平成30年度健康診断と体力テストの結果報告、協議、保健師による指導助言が行われました。



健康診断・体力テスト結果報告より

〈本校生徒の課題〉

健康面 (歯科検診結果より)

・う歯 (虫歯) や初期の歯肉炎 : 54 %

(昨年度比 22・5 % 増)

★ 治療を必要とする生徒が半数以上



体力面 (体力テスト結果より ※全国比)

・1年男子: 柔軟性・全身持久力・50 m 走

・1年女子: 柔軟性・全身持久力

・2年男子: 全身持久力

・2年女子: 全身持久力

・3年男子: 柔軟性

・3年女子: (全て全国平均に近づいている)

★「全身持久力」をつけていくことが必要

〈本校の取組〉

健康面 (歯と口の健康週間) 6月4日～8日の取組

○レポート作成

「効果的な歯磨きの仕方や

虫歯になるメカニズム」について

↓ 給食時間に、まとめたことを発表しました。

○ペア歯磨き

↓ お互いに歯磨きの方法について意見を出し合いながら、効果的な歯磨きを実践しました。

○歯磨き指導

↓ 放課後の時間を活用して、養護教諭による「染め出し液」を用いた歯磨き指導を実施しました。

体力面 (生徒会との連携)



○「体トレ」の実施

↓ 生徒会生活部が中心となり、週1回を目標に、全校生徒で体力づくりを行っています。



協議報告

協議では、「小中一貫教育指導項目」のアンケート結果から、特に改善が求められる「整理整頓」についての意見交換や課題解決について話し合いをしました。

～『整理整頓』実践のポイント～

- 必要なものといらないものを分別する
- いらないものはすぐに捨てる
- 片付ける場所を確保する
- 保管場所にラベリングをする



保健師による指導助言

～保健師・中間さんより～



「家庭で子供に整理整頓させていくには、親子間で、『片付いた状態』や『どこまで整理すればよいのか』を話し合うことが大切」

今回協議したことや頂いた助言を生かし、上中生の健康面や生活面の向上に向けて、家庭と学校との連携を図っていききたいと思います。

各家庭でも、ぜひ、歯磨きの大切さや、体力向上、整理整頓について話し合い、実践してみてください。

(保健主任 富山 美智隆)



学校・児童生徒・保護者・地域の力が集結！

～上飯中学校区小中一貫教育研究公開～



島内外の多くの方に、児童生徒が生き生きと自分の思いや考えを表現する姿を見ていただきました。

『編集後記』

多くの方々の御協力のもと、今年度最初の PTA 新聞『南風』を発行することができました。原稿依頼を快く引き受けてくださった方々、ありがとうございます。また紙面作りをしてくださった先生方、力を貸してくださった研修部の皆さまに感謝申し上げます。

今年度は、PTA 会員の皆さんが活躍する様子を発信することで、PTA 新聞ならではの紙面作りを目指し、皆様に親しんでいただける『南風』にしていきたいと思っています。次号でも、PTA 活動を中心にお届けしますので、今後も皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

(研修部部長 中尾 真由美)



＜親子レクリエーションのお知らせ＞

上飯中 PTA 事業部

- 日時 平成30年9月9日(日)
(晴天時) 11:00～15:00
(雨天時) 10:00～14:00

- 場所 (晴天時) 鹿の子大橋付近
(雨天時) 中学校体育館
上飯老人福祉センター

- 内容 (晴天時) 磯遊び、BBQ
(雨天時) ミニバレーボール大会、食事会

* 会費等の詳細は、後日文書にて配布します。

